ぞれ書き入れましょう。 次の から のア、イの(

の中に、「しかし」「だから」のうち、あてはまる言葉をそれ

ポイントだよ!
()の下の文をよく読むことが

雨がふりそうだった。

ア

1

 \prec

かさを持たずに出かけた。

かさを持って出かけた。

 \prec

ぼくは、おなかがすいた。

₽ **`**

食べるのをがまんした。

 \prec

)、たくさん食べた。

5と合うようなつなぎ言葉をえらん。) の下の文は同じだね。

あれあれ、

次は (

下の絵の人の気持ちと合うようなつなぎ言葉をえらんでね。

がんばって勉強した。| 人

ぼく

は

)、九十点だった。

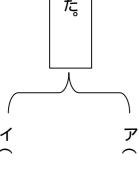
ア

うれしいな。 九十点取れて

)、九十点だった。

くやしいな。

私は、九時に家を出た。



)、集合時間に間に合った。

ぎりぎり間に合った。

)、集合時間に間に合った。



よかった。

Ħ	語
たった言葉	つくように言言を

名前

	今日は天気がよい。()、あたたかい。		今日は、天気がよいし、あたたかい。	駅まで走って行った。()、電車に乗りおくれてしまった。	駅まで走って行ったが、電車に乗りおくれてしまった。	 (例) あまり勉強をしなかったので、テストはよくできなかった。	前の文と後の文のつながり方をはっきりさせる言葉を接続語というよ。	二つの文にしましょう。	ピアノをいっしょうけんめい練習した()、発表会で失っ	ノートを買いに出かけた ()、店は休みだった。	旅行に持っていく物をメモしておいた()、わすれ物	ぼくは、つかれていた()、なかなかねむれなかった。	ぼくは、急いでいた()、走って帰った。	葉を書き入れましょう。【1】意味がよく分かるように、() の中に「ので」「のに」のこ
· -	ところで	つまり	し か し	しか も	あ : 3 : 1 : 1 : 1)の中に書き入れ、	発表会で失敗してしまった。		わすれ物をしないですんだ。	J		のうち、あてはまる言

ど	あ	₹	لاا	
どどのれ	あ あ の れ	そそのれ	このれ	ものごと
どこ	あそこ	そこ	נונו	場所
(どっち)	(あっち)	そちら (そっち)	(こっち)	方向
どんな	あんな	そうな	こんな	様子

「この」「その」「あの」「どっこ・そ・あ・ど』 言葉とり「もの(人)」「場所」「方り「もの(人)」「場所」「方の」 などのように、

やってみよう

次の会話に合う「こそあど言葉」 を入れましょう。









こそあど言葉(指示語)②

名前



ど		あ		Ę	÷	٦		
どの	どれ	ど あ あ れ の れ		そ そ の れ		ここのれ		rr,9d
<u>ئ</u> ز		あ そこ		そこ		ل ۸ ل ۱		場所
(どっち) どう	どちら	(あ っち)	あちら	(そっち)	そちら	(こっち)	02, Ct F1	方向
どう	どんな	あ あ	あんな	そう	そんな	こう	こんな	様子
指し示すものがはっきりしない場合		のを指す場合	話し手からも相手からも遠くにあるも	本言の近くにあるものを打き場合		言し言の近くにあるものを打で場合	話したのに、こののいと言け場合	使い方

やってみよう



三百円です。

は、